

## なんだ・かんだ

### ◆ AI普及による影響 ◆

ここ最近、AIの普及によるリストラや、採用削減の記事が新聞に毎日の様に掲載されています。

アメリカでは、今期最高益を出しているテック企業でもリストラが相次いでいて、マイクロソフトはデータセンターのインフラ投資がかさんでいて、1万5000人の削減を発表しました。アマゾン・ドット・コムは事務職やエンジニアを中心に1万4000人の削減を発表しました。

日本でもNTTの島田明社長が日本経済新聞の取材で、5年後に業務の半分以上をAIが担えるようになるとの見方を示しました。

ただ、日本の制度は終身雇用がベースにあり、米国のようにドラスティックに社員を解雇できないので、今いる社員については、社内での配置転換が選択肢になると説明し、AIは社員の雇用を奪うものではなく人手不足を補う存在だと、先の米テック企業のようなリストラは否定していました。

他にも、日経新聞が主要企業100社超に「AIで5年後に社内人員をどれだけ補えるとみているか」という調査に対して、TOPPANなど2社が4割台、日本生命保険など6社が3割台と回答しています。

新卒採用を絞る動きもあります。これも日経新聞の採用状況調査ですが、2026年春入社採用数をAIを理由に減らしたとの回答が、782社のうち16社、将来減らすことを検討中の企業も61社ありました。企業内において、AI導入による人手による業務の代替が進んでいるし、今後更に進んでいくということです。

一方、学生側でも4割が、AIの普及を見越して志望職種を変えているそうです。AIにより生産性の向上がもたらされるプラスの面があることを理解しつつ、雇用の一部は失われるとみて、AIを使う立場に就かなければならないと、仕事を選ぶ重要な要素として捉えているということです。

AIで合理化が先行する職種がコールセンターだそうで、故障に関する問い合わせを電話で受け付けるNTT東日本の「113」では、今年この業務の2~3割をAIに置き換えたということです。NTT東日本とNTT西日本の担当従業員は現在合計2500人を2027年度以降に半分にするという事です。

私事ですがつい先日東京駅でバックを紛失してしまいました。コールセンターが時間外だったので、ネットからの問い合わせは「チャット」しかなく、荷物の特徴や中身を入力するとしばらくして「可能性の高いモノが見つかりました」というメッセージが届きました。翌日コールセンター(人間が対応)に電話して自宅まで代引きで送ってもらって手続きをして解決しました。人間が介したのは最後の一部分だけ、これもチャットの結果を信じてそのまま手続きをすれば全く人間を介さずに終わったと思います。この様な問い合わせ対応などのAIへの移行を肌身で実感した次第です。

大企業ですでにAIが浸透し、実際に人手を代替するまでになっていますが、人手不足・求人難に直面している我々中小企業にも、そう遠くない内にこの波がプラス面として届いてくれればと思っています。

### ■ 採用できました ■

先月号で求人募集について掲載させて頂きましたが、何とか採用することができました。

27歳の男性で、配属は営業部2課のネット販売の業務を行っている部署となります。前職はアパレル関係で店頭で接客販売を行っていたので、全く畑違いとなりますが、まじめで人当たりも良く、不特定多数の個人の方と接するネット販売には向いているのではないかと思います。

後日改めてあいさつ文を掲載させて頂きますが、宜しくお願いいたします。

## 便利な時代になった

短い秋が駆け足で通り過ぎ、ここ数日は昼間でも暖房を入れる様な日が出てきました。また夜も寒く少し前に羽毛布団を出しました。11月の終わりってこんなもんだっけ?1年を通した季節感や寒暖の感覚が分からなくなっていました。

さて、iPadを東京駅で紛失し、JRのAIの能力の高さにびっくりした話を本文に書きましたが、同時にアップル製品同士の追跡機能が素晴らしいことにも驚きました。

アップル製品には同社製品の位置を探る機能があり、アプリを起動すると登録してある製品のイラストが地図上に表示されます。失くしてすぐにこの機能に気づかず、家に帰って来て試してみようとして地図上の東京駅にiPadが表示されたのでちよつと安心した次第です。紛失モードに設定したので、後日iPadが家に届いて電源を入れると、画面に「紛失」の文字と連絡先の電話番号が表示され、もちろん中身は見られないようにロックされていました。便利な時代になったものです。

代表取締役 服部 蔵一郎

## 社員ブログ

### ● 再会 ●

総務部 荻野容子

先日、母校の小学校の100周年イベントがありました。母をはじめ、伯父伯母などわが家は親子3代でお世話になった小学校のため、とても感慨深いです。もちろん親子で参加しました。

イベントの一つに50年前・10年前に埋めたタイムカプセルを掘り起こすイベントがあり、娘たちも当時小学生で、何を埋めたかろう覚えでしたが出てきたのは【10年後の自分へ】手紙。

「10年後の〇〇、元気にしていますか?」からはじまり将来の夢・母からのメッセージもあり、友達と読み比べて大いに盛り上がりました。

娘たちは小学校卒業以来会っていない友人との時間を楽しみ満喫。私も何十年ぶりに会う同級生との再会で、「えっ? 〇〇?」と恐る恐るお互いに声をかけては、次の瞬間にはハグをしたり爆笑になったりで一瞬で当時に戻り懐かしい話に花を咲かせました。当時の担任へ電話を掛けて話したり、これを機に眠っていたクラスLINEも稼働させ、再会したメンバーとの集合写真をアップして各々の返信で生存確認(笑)。同窓会の計画にも繋がりました。

終演には校庭で打上げ花火もあがり皆で感極まりました。本当に素敵な時間でした。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思ひます。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/